

令和4年1月部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和4年1月5日（水） 午前8時35分から午前9時45分まで
- ◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、及び関係課職員

◇会議内容

<市長あいさつ>

- ・新しい年になり、私も気持ちを新たに公約実現に向けて取り組んでいきたい。今年寅年である。昨年に続き、今年も漢字一文字で表すと「挑」という年にしたいと考えている。皆さんと一緒にトライしていく1年にしたい。
- ・新年度予算の市長査定が始まる。私の基本政策が反映された予算案に仕上がりがつつあると感じている。各部局としっかり議論しながら、躍進の幕開けの年にふさわしい予算案にしたい。
- ・2月から一般高齢者を対象とした新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種が本格化する。市民の皆さんに安心感をもっていただくためにも、ワクチンの追加接種を円滑に進めたい。3回目接種に当たっては、1回目、2回目接種の時と同様に、各部局からの応援や協力をお願いする。
- ・篠ノ井小松原地区の国道19号は昨年7月から地滑りによる交通規制が続いているが、2月上旬に全面交通開放になる予定である。市民生活や経済活動に大きな支障が出ていたので、まずはよかったと感じている。昼夜を問わず工事に従事いただいている建設業関係の皆さんに感謝を申し上げたい。なお、国道19号では、信州新町地区の水篠橋の交通規制が続いているため、引き続き、国に対して国道事業の進捗について要望していきたい。
- ・2月の下旬からは市議会3月定例会が始まる。3月定例会に提出する新年度予算案を始め、新年度の施策・事業について、市民の代表である議会に対し分かりやすい説明をすることを通じて、市民の皆さんの市政への理解につなげていきたい。
- ・4月に入ると善光寺御開帳が始まる。「新型コロナウイルス感染症有識者会議」からアドバイスをいただきながら、「御開帳関連事業 感染症対策チーム」を中心に、感染防止対策をしっかりと行うとともに、「日本一の門前町大縁日」によるにぎわい創出や交通渋滞対策など全庁を挙げて取り組むことで、御開帳を成功に導きたい。
- ・台風災害からの復興関係では、5月には（仮称）豊野消防分署が消防業務を開始し、また、大きな被害を受けた長沼体育館も8月には復旧する予定である。今年も災害からの復旧・復興を着実に進めていきたい。
- ・仕事でもプライベートでも、それぞれの場面で得られる幸福感を大切に1年を過ごし、職員自ら健康と幸福を実感することにより、「健康増進都市」を市民の皆さんに広めていただきたい。

1 報告事項

(1) 令和3年12月専決補正予算について（財政部）

標記事項について、財政部長から説明した。（資料1参照）

○質疑なし

2 協議事項

(1) 令和4年度組織・機構の見直しについて（総務部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。(資料2参照)

○質疑

〔財政部長〕組織・機構の見直しに伴い、業務の見直しも行い、業務量を減らしていく必要がある。

〔総務部長〕廃止できない業務も、簡素化して業務量を圧縮するとともに、兼務辞令により効率的な人員配置を行いたい。

〔副市長〕荻原市長の公約に基づく新産業創造推進局と行政DX推進課の設置は、今回の見直しの目玉である。新産業創造推進局内の3つのチームについては、この案のとおり編成した後、効率性等を見ながら調整していくことを考えている。新産業を興して法人関係税の増収を図るための体制作りであるため、他部局も協力してほしい。

〔商工観光部長〕商工業関係者からは、中心市街地活性化のためにソフト、ハード両面での取組が必要との声を聞くので、それに応える体制だと思う。中心市街地活性化について、まちづくり課と市街地整備課の業務、役割分担はどうなるのか。

〔総務部長〕基本的にはまちづくり課がソフト、市街地整備課がハードという分担である。他の業務も含めて、グループ内で実際に業務を行いながら整理していくことになると考えている。

〔市長〕業務量の削減についてだが、責任感が強いあまりに仕事を増やしてしまうこともある。不要なことをそぎ落として、やるべきことをブラッシュアップし、そこに集中することが良い結果を生むと思うので、改めて業務の見直しを図ってもらいたい。

〔西澤部長〕本件は次回部長会議で正式に決定するため、各部局で意見等があれば、それまでに職員課と協議をお願いしたい。

○今後の方向性

次回部長会議において再度協議し、決定する。

(2) 長野市行政DX推進計画(案)に対する市民意見等の募集の実施について(総務部)

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。(資料3参照)

○質疑

〔財政部長〕取り組み一覧に水道メーターのスマート化があるが、令和4年度予算で要求されている衛星データとAIを活用した漏水調査も記載した方が良いのではないかと。

〔町田上下水道局長〕検討する。

〔総務部長〕スマートシティNAGANO基本計画との切り分けが難しく、本計画に入っていない部分もある。整理の上、必要なものは取り込んでいく。

〔副市長〕スマートシティに行政DX的な案件を初めから入れてしまうと、スマートシティそのものが市からの委託事業のように見えてしまい、新産業育成につながらない。当面は行政DXとスマートシティを分けて考え、どちらの計画に入れるか個別具体的に判断すべきである。スマートシティが形になってきた段階では、再度整理して行政DXからスマートシティに移していくこともあり得る。

○今後の方向性

原案を了承。

(3) 綿内人権同和教育集会所の廃止について(地域・市民生活部)

標記事項について、地域・市民生活部長から説明し、協議を行った。(資料4参照)

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

(4) 勤労者福祉施設再編の方針について（商工観光部、総務部、地域・市民生活部）

標記事項について、商工観光部長及び危機管理防災監から説明し、協議を行った。（資料5参照）

○質疑

〔副市長〕 本件は、3部局が協力して7施設を4施設に集約するもので、公共施設マネジメント推進の良い事例となる。ただ単に老朽化したから廃止するというだけでは、市民の納得は得られない。これからは、このような納得性を高める計画を示していくことが必要である。

〔こども未来部長〕 施設再整備の財源はどのようなものを充てるのか。

〔商工観光部長〕 公共施設等適正管理推進事業債を充当する。

〔こども未来部長〕 各地区の公民館、交流センターの建替えが順番待ちで、更に災害で先延ばしとなっている状況であり、そちらを優先すべきではないか。新たに勤労者福祉施設を建てる必要性は、50年後のことまで考慮して検討すべきではないか。

〔商工観光部長〕 現在の北部勤労青少年ホームは築50年で耐震性もない。地区バランスも考慮すると勤労者福祉施設は北部にも配置することが市民益にかなわない、しかも有利な起債も使える。今後の資産形成という意味でも、建替えは妥当と考える。

〔こども未来部長〕 新たな勤労者福祉施設は、昼間も含めて、広い世代に地域の中で使っていただけるような施設とすることを検討してほしい。

〔商工観光部長〕 現状として生涯学習施設の一翼を担っている面もあり、その点でも今後もニーズは高いと考える。再編後は、就労支援などの本来の機能を強化しながら、生涯学習施設としての側面も保持することになると思う。

〔副市長〕 公民館の建替えは、別の話と考えた方がよい。確かに市民生活という点では公民館は重要だが、市全体を俯瞰して判断する必要がある。

〔総務部長〕 公共施設再編については、現在、用途毎に各エリア及び市全体でどの程度必要かなどを整理中であり、令和4年度には、それを示した上で、各部局においてどういった施設をどのように再編していくか考えていただきたい。

〔市長〕 こども未来部長の指摘も重要であり、留意して検討していきたい。

○今後の方向性

原案を了承

3 その他

(1) 第四次長野市子ども読書活動推進計画の策定について（教育委員会）

標記事項について、教育次長（行政）から説明した。（資料6参照）

○質疑なし

以上